

三浦半島東岸③
金田海岸周辺

尺ギスの実績が高く、一発大物の魅力がある。過去の私の実績でも尺ギス7尾中4尾がこの周辺。シーズンは早く、4月後半より可能性がある(2000年4月30日早朝、ポッケ崎の小磯で釣れた30cmが私の最早期魚)。第1のポイントは海岸北側のポッケ崎周辺の荒い根周り。岬にあるホテル左手の小磯から小湾に投げる。朝夕のマヅメ時と夜間の満潮前後に大型のチャンス。干潮は沖島方向の遠投で、昼も実績あり。

第2ポイントはホテル右側の砂浜。根際の1~2色の近投。夜間より明るくなってからのほうが期待あり。(2010年8月8日、夜はアタリなく、日の出とともに入れ食いになり、午前10時までに22~26.2cmを30数尾記録)。

第3ポイントは、金田港寄りの流れ込み周辺。水深は2色で5mとこの周辺では深い。ポイントは2~3色付近で確率が高く、遠投の必要はない。朝夕マヅメを挟んだ夜間に実績が高い。欠点はゴンズイが多く、夜は満干前後の時に集中したほうが得策。さらに海岸は東向きなので低気圧が通過するときの北東風や南からのウネリは魚を散らすので注意。

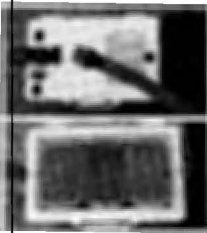
明るくなってからのほうが実績の高いポッケ崎。日中でも良型が出ることも



リュックサックの中身。手前真ん中の四角い物はウレタンシートをビニール袋に入れた簡易座布団。クーラーや岩場に敷くだけでお尻が痛くならず見た目以上の優れ物。レジャーシートと空気枕もあると、堤防上などどこでも寝られる



読者さんから問い合わせをいただいた水温計は、坂井さんのオリジナル。岩場などでも本体が割れないように中空のケースに入れ、上下を樹脂で固めている。側面には温度目視と水抜きのために穴を空け、さらに本体とケースの間に水が溜まることによって陸上に上げたときの温度変化を防いでいる。また、テンピンに結ぶことで少し沖の海底水温を計ることもできる



クーラーの肩ヒモは分離できるように改良。タツパウエアを活用したエサ箱は、樹脂で耳を付けて中ブタ風に

- ④潮時表、手帳、ボールペン
総重量約5kg
- ②クーラー
投げ釣り用8ℓ。サイドボックス付(ダイワサーフSU800X)。軽量化のためアクセサリは装着せずシンプルに。シヨルダールトはフタ開閉時の邪魔にならないようにサイドリリースバックルにより分離可能に。内部上部にタツパーを改良したエサ箱3個を内ブタ風に配置。
魚を収納する袋はジップロック

- のイージージップパー付(サイズ27・9cm×26・8cm)の水漏れしないタイプ。
総重量6・5kg(水1・1kg、ペットボトル500ml×2)。空時は4・2kg。
- ③ロッドケース
竿購入時に付いていた竿袋2枚を縫い合わせて一体化させた物。
①並継竿2本。400g×2本の自作)。ステック部は外径17mmパイプ15cm。12mmパイプ75cm。10mmソリッドを組合せたもの。竿掛け部は6mmのアルミソリッドをくの字に屈曲し、歯科用樹脂で成形加工したもの。なおステック部と竿掛け部は取り外し可能。重量

PROFILE

坂井 浩

さかい・ひろし



☆便利なオススメグッズ
ポケットブルライトデイバック
8ℓ 収納サイズ14mm×16cm、重量160g(モンベル社製)
以上3点の総重量は釣魚を含めると最大14kg、空時でも11kgとなる。私の場合、1日の徒歩距離は5kmを超えることも多く、かなり

尺ギスを追い求める投げ釣り師。一年に1尾は尺を上げるため釣り場に通り、ここ数年は目標を達成。歯科技工士という仕事柄、釣り具に歯科用樹脂(即時重合レジン/東急ハンズなどで購入可能。シリコン素材などを混ぜて使うことも)を使い、改良を加えている。この7月7日は25.5cmを頭に15尾、7月16日は29cmを頭に10尾以上の釣果。後生に範を示すため、自分もまだまだ進化中です!!



コンパクトに畳めるデイバックは、サブバッグとして食料、飲料などを入れ、バッグ本体とカラビナで結合して使っている

の労力と時間を費やしている。しかし、そうして釣った1尾の大ギスは感激ひとしおなものである。今後は、今までの経験を生かして、少しでも効率的でラクな釣りを目指していければと思っ

釣り場に関しては先月号の前編と合わせて、走水・観音崎周辺、野比海岸、金田海岸周辺と3カ所を紹介したが、風向きや海況に応じてどこかで竿を出せる全天候性の釣り場である。事実、私も台風でもこない限り釣行を断念することはほとんどなかった。

都心からでも公共交通機関を使い、2時間あまりで大ギス釣りを楽しむことができる三浦東海岸。皆様も目を向けてみてはいかがでしょうか。いつかどこかの釣り場でお会いできることを楽しみにしている。